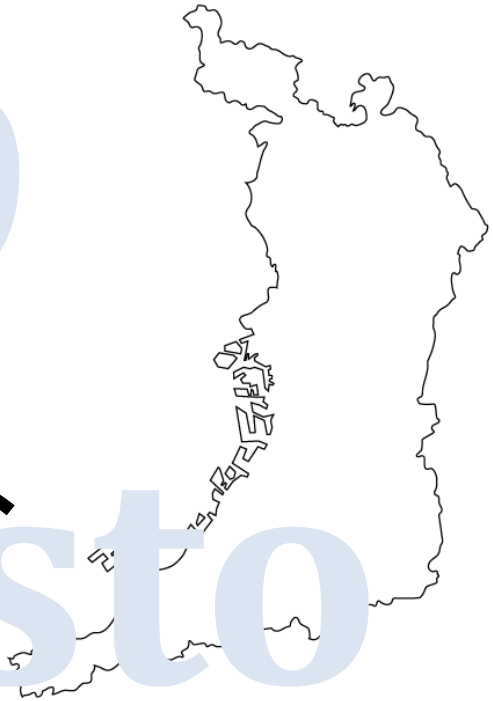
2019

大阪維新の会
箕面市マニフェスト

Manifesto



大阪維新の会　マニフェスト2019

大阪府域全体の広域戦略を進めるとともに、
府内各自治体、及び中広域ブロックから総合的に施策立案を展開していく

府内各市町村版

大阪府域版

北摂ブロック版

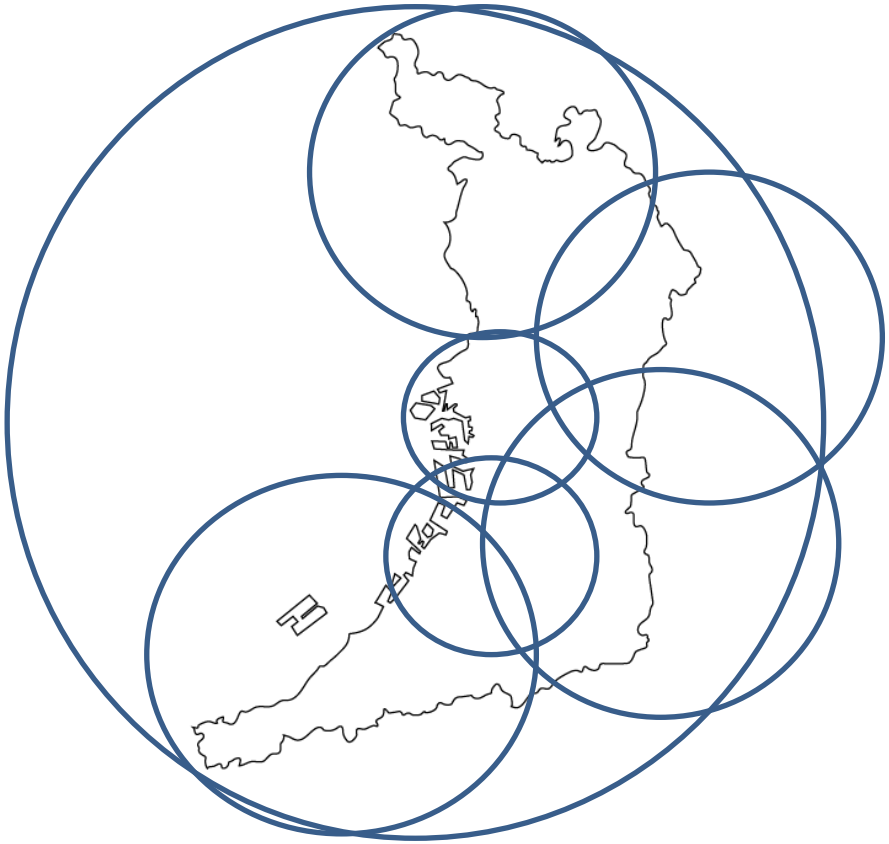
北河内ブロック版

大阪市域版

中・南河内ブロック版

堺市域版

泉州ブロック版



項　目	具体的施策	現状・課題認識
身を切る改革	議員定数条例改正案の議員提案	議員定数削減により、議員自ら身を切る覚悟を示す。 議員定数は人口１万人に１名が妥当といわれる。 かつて、大阪府議会では、大阪維新の会府議団主導の下、平成２３年６月４日未明に議員定数条例改正案を可決、議員定数を１０９名→８８名に２１名削減、約２割という前代未聞の歴史的な削減を実現した。 そこで、箕面市議会でも現行２３名→１９名の削減を目標としている。
	政務活動費廃止条例案の議員提案	政務活動費の廃止により、議員自ら身を切る覚悟を示す 政務活動費にまつわる不祥事については、以下のように枚挙に暇がない。 （１）大阪府議会 共産党府議団の朽原亮幹事長は、白紙の領収書に金額を自らが記入して、政務活動費を水増して受け取り、住宅ローンの支払い等に不正流用し、５年間で、計約２２０万円を詐取、 その後、平成２８年１０月に議員辞職。 （２）富山県議会 矢後肇元副議長（自民）は、平成２３年～平成２６年にかけて、書籍代として３７０万円を詐取、詐欺と虚偽有印公文書作成・同行使の容疑で起訴、懲役１年４月、執行猶予４年となる。 山上正隆県議（民進）は、平成２３年～平成２５年、県政報告の印刷代として政務活動費を計上する際に、知人の印刷業者から貰った白紙の領収書を使って水増し請求し３７万円を不正に取得、平成２８年９月に辞職。 （３）富山市議会 市議１４名が、領収書のねつ造と改ざんで水増し請求し、議員辞職。

項　目	具体的施策	現状・課題認識
身を切る改革	政務活動費廃止条例案の議員提案（つづき）	（４）兵庫県議会 野々村竜太郎県議は、平成２５年頃に１９５回の日帰り出張をするなど、政務活動費約９１３万円を詐取、懲役３年執行猶予４年。 （５）神戸市議会 橋本健市議は架空の領収書を提出し政務活動費約６９０円を詐取。 （６）岡山県議会 小田春人岡山県議が、平成２７年～平成２８年頃にかけて、政務活動費で自己啓発本やビジネス書など教養書約１２００冊を購入、同氏は「政治家の教養のため必要」としているが、全国市民オンブズマン連絡会議事務局長の新海弁護士は、政務活動と無関係な本への支出は返還すべきと指摘。 以上、領収書の水増しや偽造は論外としても、政務活動費については、常に、政務活動と私的利用の両方の性質を有し、表裏のもの混然一体と分かちがたく、その本質的な理由の故に、市民から疑いの目を持たれ、議員の第２の報酬と揶揄され、廃止しない限り腐敗は根絶されないとまで言われる。そこで、今回、根本的に疑いの根を断つべく、制度自体を廃止する。
教育改革	箕面市の「学力向上パイロット校」の緻密な分析・検証	教員の働き方改革による、真の教育目標の実現

項　目	具体的施策	現状・課題認識
教育改革(つづき)	ステップアップ調査の分析と顕彰方法の実現	箕面学力・体力・生活状況総合調査（ステップアップ調査）の教職員人事評価等への活用 現在、箕面市では、平成２４年度より、小学校１年生～中学校３年生までの、全９学年で、毎年、子どもたち一人一人の状況を、全方面（学力・体力・生活）について、年に１度、全数調査している。この、全数調査のデータベース化によって、特定の生徒、特定の学年の、経年での変化を把握することが可能となった。 他方、このビッグデータを利用して、教員の指導能力や適性についても、現在、客観的に把握することが可能となっている。 そこで、客観データを把握・分析し、評価することで、教職員の評価を客観化するとともに、個別に顕彰を行い何らかの手当をするなどし、もって、教員の切磋琢磨を促す。
まちづくり	箕面グリーンロードのＮＥＸＣＯ西日本移管と南側出口のアンダーパス化	箕面グリーンロードの利便性の向上 箕面市の北部地域（止々呂美・箕面森町）は、新名神高速道路の開通した現在、箕面市の北の玄関口であり、箕面市に残された最後のフロンティアであり、北部地域の発展の帰趨が、箕面市の将来の命運を握る。 その北部地域にとって生命線となるのが、箕面グリーンロードであり、箕面市の止々呂美・箕面森町地域の発展と定住化の促進し、さらには、その以北に展開する豊能町・能勢町の発展を支えるべく、箕面グリーンロードの利便性の向上を、支援していくべきである。 そこで、グリーンロードの利便性向上に資するべく、箕面グリーンロードの早期のＮＥＸＣＯ西日本への移管、箕面グリーンロード南側のアンダーパス化の実現を働きかけていく。

項　目	具体的施策	現状・課題認識
地域経済の活性化	・新たな箕面の名産品、箕面ブランドの創造と発信 ・「１００円商店街」や「箕面3駅はしご酒」への支援	年間約１５０万人の観光客が地域活性化に連動していない
子育て	乳児重点型認可保育園の新設・整備	乳児重点型認可保育所の整備 この間、箕面市では、平成２７年６月に策定した「第三次箕面市子どもプラン」に基づき、年度当初だけではなく、いつでも子供を預けられる“通年の待機児童ゼロ”を目指し、保育施設の整備に取り組んできた。 現在、「幼児クラス（３歳・４歳・５歳）」については、ほぼ達成しつつあり、既に、供給過剰となりはじめている。 他方、「乳児クラス（０歳・１歳・２歳）」については、保育対数の関係で、未だ、整備が追い付かない状況で、最近でも、２歳児クラスの保育対数を１：５→１：６へと、見直しを行っている。 そこで、引き続き、乳児クラスに関し、保育園の新設・整備を推進する。